

第2次環境基本計画改訂版 平成27年度重点プロジェクトの実績一覧(H28.3.31現在)

| 重点プロジェクト | 取組内容 | 平成26年度の実績(参考) | 平成27年度の実績 | 自己評価 | 担当室課の見解など | 担当室課 | 関係室課 | |
|---------------|---|--|--|---|---|---|-------|--|
| 地球温暖化対策の推進(1) | ① 低炭素まちづくりの検討及び推進 ・下水熱など未利用エネルギーの活用 ・自動車利用抑制による公共交通機関の利用促進等 ・公園等における緑地の保全及び緑化の推進 | 大阪大学環境イノベーションデザインセンター(CEIDS)と連携し、将来ビジョンづくりのために、平成26年6月から「環境イノベーションに関わる共同研究」を始めた(平成26年度は4回実施)。 | 大阪大学環境イノベーションデザインセンター(CEIDS)と連携し、持続可能な社会を構築するための「フューチャー・デザイン」をテーマとするシンポジウムを開催した。(9月21日) | △ | 4月1日より、大阪大学環境イノベーションデザインセンター(CEIDS)は、オープンイノベーション教育研究センター(COIRE)と組織改正されたため、新たな連携の枠組を検討する必要がある。 | 環境政策室 | | |
| | | 千里山星空遊園(371㎡)を開設した。千里緑地(第4)及び片山公園において、人生節目の記念植樹制度(緑化啓発事業)を活用した市民寄附による植栽(6本)を行った。 | 千里山中央公園(0.30ha)、あずま希望広場(717㎡)、山手町遊園(406㎡)、春日いこいの遊園(352㎡)を開設し、富士遊園(732.66㎡)を増設した。 | △ | 都市公園の設置における緑化の推進を行った。 | 公園みどり室 | | |
| | | 吹田市公共交通マップ2015の作成:20,000部うち約半数を毎年転入窓口で配布。その他は、市内の主な駅、公共施設等で配布。 | 吹田市公共交通マップ2016の作成:20,000部うち約半数を毎年転入窓口で配布。その他は、市内の主な駅、公共施設等で配布。 | △ | 公共交通マップを配布することにより、公共交通利用促進に寄与している | 総務交通室 | | |
| | ② 公共施設における率先実行(節エネルギー、省エネルギー、低炭素エネルギー) ・節エネルギーの率先実行 ・省エネルギー機器・再生可能エネルギーの導入拡大 | 再生エネルギーの導入実績 【2号街区公園】 太陽光発電 375W ソーラー照明 140W 【市立吹田サッカースタジアム】 太陽光発電 504kW 【いずみ公園】 ソーラー照明(公園灯) 90W 【千里山中央公園】 ソーラー照明(公園灯) 140W | 再生エネルギーの導入実績 【吹田市千一地区公民館及び(仮称)千一コミュニティ施設】 太陽光発電 3.44kW 【吹田市立千里丘北小学校】 太陽光発電 10.44kW 【千里山東公園】 ソーラー照明(公園灯) 100W | この他、公共施設における屋根貸し事業に関しては、吹田市庁舎ほか6施設において提案者の公募を行い、全施設の最優秀提案者を特定した。その後、施設状況の変化等により2施設において事業者が辞退したことに伴い、5施設において協定書締結の手続きを進めた。 | ○ | 平成26年8月9日開催の本市環境施策調整推進会議において、施設や設備の新設及び大規模改修時には、特段の事情がない限り、再生可能エネルギーを導入すること及び既存の施設においても、可能な限り、積極的に再生可能エネルギーの導入を図ることを決定した。このことを踏まえ、今後も積極的な再生可能エネルギーの導入を促進する。 | 環境政策室 | 環境政策室 総務室 資産経営室 地域経済振興室 都市計画室 開発審査室 総務交通室 道路室 公園みどり室 下水道経営室 |
| | | この他、吹田市公共施設の屋根貸し事業推進幹事会を設置し、公共施設における屋根貸しによる太陽光発電システム設置促進事業について検討した。 | 本庁舎敷地内における屋根貸しによる太陽光発電システム設置促進事業について、設置事業者と協定書を交わした。(平成28年度実施予定) | ○ | 吹田市公共施設の屋根貸し事業推進幹事会において検討していた事業の実施が決定。屋根貸し事業の実施に向けて、行政財産目的外使用許可などの準備を進める。 | 総務室 | | |
| | | 【阪急山田駅前西自転車駐車場】 【阪急山田駅前南自転車駐車場】 【JR吹田駅前中央自転車駐車場】 【JR吹田駅前西自転車駐車場】 【岸部保管所】 屋根貸しによる太陽光発電システム設置促進事業について、設置事業者と協定書を交わした。(平成28年度実施予定) | 吹田市公共施設の屋根貸し事業推進幹事会において検討していた事業の実施が決定。屋根貸し事業の実施に向けて、行政財産目的外使用許可などの準備を進める。 | ○ | 吹田市公共施設の屋根貸し事業推進幹事会において検討していた事業の実施が決定。屋根貸し事業の実施に向けて、行政財産目的外使用許可などの準備を進める。 | 総務交通室 | | |
| | | 吹田市立千里丘北小学校建設工事1件の建設工事において、LED照明等の省エネルギー機器を可能な限り導入した。また、吹田市立北千里市民プール管理棟壁面改修及び屋根等防水工事他22件の改修工事、耐震補強工事等において、一部の照明機器等をLED照明等の省エネルギー機器に更新した。 | わかたけ園移転整備工事他1件の建設工事において、LED照明等の省エネルギー機器を導入した。また、吹田市立江坂大池小学校校舎耐震補強工事他18件の改修工事、耐震補強工事等において、一部の照明機器等をLED照明等の省エネルギー機器に更新した。 | △ | 今後も引き続き省エネルギー機器等の導入を進める。 | 資産経営室 | | |

第2次環境基本計画改訂版 平成27年度重点プロジェクトの実績一覧(H28.3.31現在)

| 重点プロジェクト | 取組内容 | 平成26年度の実績(参考) | 平成27年度の実績 | 自己評価 | 担当室課の見解など | 担当室課 | 関係室課 |
|---------------|--|---|---|------|---|-------|--|
| 地球温暖化対策の推進(2) | ③ 廃棄物処理関連施設包括的管理運営事業 本市資源循環エネルギーセンター、破碎選別工場、資源リサイクルセンター及びストックヤードの管理運営に、民間の活力及び経営手法を導入することにより、より効率的で効果的な廃棄物処理事業及び環境啓発に関する事業を行うことの様々な可能性について、調査・比較・検討を行う。 | 資源循環エネルギーセンターの管理運営を長期包括委託で行うことは、議会の承認を得ることができなかった。資源リサイクルセンターについては、環境啓発事業のテーマを「ごみの減量・資源化から持続可能な低炭素社会・資源循環型社会の形成に広げるため、地球温暖化防止をテーマに、市民向け環境連続セミナー等を開催した。また、幅広い年齢層の参加促進もねらい、資源リサイクルセンターのホームページをリニューアルした。 | 資源リサイクルセンターについては、環境啓発事業のテーマを「ごみの減量・資源化から持続可能な低炭素社会・資源循環型社会の形成に広げるため、地球温暖化防止をテーマに、市民向け環境連続セミナー等を開催した。また、幅広い年齢層の参加促進もねらい、資源リサイクルセンターのホームページをリニューアルした。 | ○ | 資源リサイクルセンターについては、特に大学、事業者との新たな連携による環境啓発事業の展開を試行していく。 | 環境政策室 | 環境政策室 総務室 資産経営室 地域経済振興室 都市計画室 開発審査室 総務交通室 道路室 公園みどり室 下水道経営室 |
| | ④ 再生可能エネルギーの導入促進 | 昨年度に引き続き、おおさかスマートエネルギー協議会(市町村部会)等に参加し情報収集を行った。また、大阪府及び大阪府が共同で取り組むおおさかスマートエネルギーセンターについて、HPで紹介し、市民・事業者へ情報提供を行っている。 また、アジェンダ21すいたとの連携・協働により、同団体のHPや、ニュースレター、エネルギー啓発冊子エコプレスを通じて、太陽光発電の導入促進を呼びかけるなどの啓発を行った。 | 昨年度に引き続き、おおさかスマートエネルギー協議会(市町村部会)等に参加し情報収集を行った。また、大阪府及び大阪府が共同で取り組むおおさかスマートエネルギーセンターについて、HPで紹介し、市民・事業者へ情報提供を行っている。 また、アジェンダ21すいたとの連携・協働により、同団体のHPや、ニュースレター、エネルギー啓発冊子エコプレスを通じて、太陽光発電の導入促進を呼びかけるなどの啓発を行った。 | △ | 本市のHPやアジェンダ21すいたとの連携・協働による講演会などにおいて、再生可能エネルギーの導入促進の啓発を行っているが、更なる導入促進に向けた支援策や啓発を行う必要がある。 | 環境政策室 | 環境政策室 総務室 資産経営室 地域経済振興室 都市計画室 開発審査室 総務交通室 道路室 公園みどり室 下水道経営室 |

第2次環境基本計画改訂版 平成27年度重点プロジェクトの実績一覧(H28.3.31現在)

| 重点プロジェクト | 取組内容 | 平成26年度の実績(参考) | 平成27年度の実績 | 自己評価 | 担当室課の見解など | 担当室課 | 関係室課 |
|------------------|--|---|---|------|---|--------|---|
| ヒートアイランド対策の推進(1) | ① 建築物・道路・駐車場の高温抑制化(高反射性塗装、透水性・保水性・遮熱性舗装など) | 千里第一小学校5号館屋上防水改修工事他2件の防水改修工事において高反射塗料を採用した。 | 東山田小学校3棟屋上防水改修工事他2件の防水改修工事において高反射塗料を採用した。 | △ | 防水改修工事の際には積極的に高反射塗料を採用する。 | 資産経営室 | 環境政策室 資産経営室 地域経済振興室 都市計画室 開発審査室 総務交通室 道路室 公園みどり室 水循環室 |
| | | 吹田市役所エコオフィスプラン及び吹田市環境まちづくりガイドライン(開発・建築版)に基づき、公共施設の新築、大規模改修の際には、高反射性塗装を実施する等のヒートアイランド対策の推進を働きかけている。また、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】により、市内で開発や建築などを行うとする事業者に対し、計画の早い段階から高反射性塗装を実施する等のヒートアイランド対策への取組の検討及び実施することを求めた。 | 吹田市役所エコオフィスプラン及び吹田市環境まちづくりガイドライン(開発・建築版)に基づき、公共施設の新築、大規模改修の際には、高反射性塗装を実施する等のヒートアイランド対策の推進を働きかけている。また、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】により、市内で開発や建築などを行うとする事業者に対し、計画の早い段階から高反射性塗装を実施する等のヒートアイランド対策への取組の検討及び実施することを求めた。 | △ | 公共施設におけるヒートアイランド対策の推進や、開発や建築などを行うとする事業者に対して取組の検討及び実施を求め、今後も引き続きヒートアイランド対策が促進されるよう努めていく。 | 環境政策室 | |
| | ② 公園緑地・街路樹の整備、緑化の推進(屋上・壁面緑化、みどりのカーテンなど) | 平成26年度完了実績 屋上緑化 (3件 194.46㎡) 壁面緑化 (4件 297.99㎡) | 平成27年度完了実績 屋上緑化 (1件 5㎡) 壁面緑化 (2件 209.83㎡) | △ | 開発事業に係る緑化指導の結果、緑化を推進できた。 | 公園みどり室 | |
| | | 平成26年4月19日(土)に、「みどりのカーテン講座」を開催し、苗の植え方、育成方法を専門家から解説してもらうとともに、ゴーヤの苗を参加者に配付した。当日は8家庭を対象に実施した。 | アジェンダ21すいたにおいて、平成27年5月30日(土)に、「みどりのカーテン講座」を開催し、苗の植え方、育成方法を専門家から解説してもらうとともに、ゴーヤの苗を参加者に配付した。当日は31家庭を対象に実施した。 | △ | 平成27年度は、対象を親子に限らなかったため、夫婦や一人での参加も多く、前年度より参加家庭数が多かったことから、高い啓発効果があったと思われる。 | 環境政策室 | |
| | | 吹田市役所エコオフィスプラン及び吹田市環境まちづくりガイドライン(開発・建築版)に基づき、公共施設の新築、大規模改修の際には、屋上・壁面緑化を実施する等のヒートアイランド対策の推進を働きかけている。また、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】により、市内で開発や建築などを行うとする事業者に対し、計画の早い段階から屋上・壁面緑化を実施する等によるヒートアイランド対策への取組の検討及び実施することを求めた。 | 吹田市役所エコオフィスプラン及び吹田市環境まちづくりガイドライン(開発・建築版)に基づき、公共施設の新築、大規模改修の際には、屋上・壁面緑化を実施する等のヒートアイランド対策の推進を働きかけている。また、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】により、市内で開発や建築などを行うとする事業者に対し、計画の早い段階から屋上・壁面緑化を実施する等によるヒートアイランド対策への取組の検討及び実施することを求めた。 | △ | 公共施設におけるヒートアイランド対策の推進や、開発や建築などを行うとする事業者に対して取組の検討及び実施を求め、今後も引き続きヒートアイランド対策が促進されるよう努めていく。 | 環境政策室 | |
| | ③ 水辺空間の保全、親水空間の創出 | 河川管理者と協力し河川の清掃を行った。 (糸田川の清掃を年2回) | 河川管理者と協働し河川の清掃を行った。 (糸田川の清掃を年2回) | △ | 今後も引き続き糸田川清掃業務を実施する予定である。また、下水道高度処理水の活用に努めていく。 | 水循環室 | |

第2次環境基本計画改訂版 平成27年度重点プロジェクトの実績一覧(H28.3.31現在)

| 重点プロジェクト | 取組内容 | 平成26年度の実績(参考) | 平成27年度の実績 | 自己評価 | 担当室課の見解など | 担当室課 | 関係室課 |
|------------------|------------------------|---|---|------|---|-------|---|
| ヒートアイランド対策の推進(2) | ④ 建築物の省エネルギー化、空調排熱の潜熱化 | 吹田市役所エコオフィスプラン及び吹田市環境まちづくりガイドライン(開発・建築版)に基づき、公共施設の新築、大規模改修の際には、高効率な省エネルギー型機器等の推進を図るよう働きかけている。 また、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】により、市内で開発や建築などを行うとする事業者に対し、計画の早い段階から建築物省エネルギー化等によるヒートアイランド対策への取組の検討及び実施することを求めた。 | 吹田市役所エコオフィスプラン及び吹田市環境まちづくりガイドライン(開発・建築版)に基づき、公共施設の新築、大規模改修の際には、高効率な省エネルギー型機器等の推進を図るよう働きかけている。 また、環境まちづくりガイドライン【開発・建築版】により、市内で開発や建築などを行うとする事業者に対し、計画の早い段階から建築物省エネルギー化等によるヒートアイランド対策への取組の検討及び実施することを求めた。 | △ | 公共施設における省エネルギー型機器等の推進や、開発や建築などを行うとする事業者に対して取組の検討及び実施を求めており、今後も引き続き建築物の総エネルギー化が促進されるよう努めていく。 | 環境政策室 | 環境政策室 資産経営室 地域経済振興室 都市計画室 開発審査室 総務交通室 道路室 公園みどり室 水循環室 |
| | ⑤ ドライ型ミストの設置 | 本庁舎正面玄関及び西玄関に設置しているドライ型ミストを夏季に稼働させて、市民・事業者への啓発を行っている。 | 本庁舎正面玄関及び西玄関に設置しているドライ型ミストを夏季に稼働させて、市民・事業者への啓発を行っている。 | △ | 東日本大震災以降、節エネルギーの一環としてイベント開催時以外の運転を自粛している。 | 総務室 | |
| | ⑥ ヒートアイランド現象のモニタリング | ヒートアイランド現象の把握のため、市域における7月～9月の熱帯夜数の把握を行った。 | ヒートアイランド現象の把握のため、市域における7月～9月の熱帯夜数の把握を行った。 | △ | 今後もヒートアイランド現象調査として、継続して、熱帯夜数を行う。また、機会を捉えての市域の気温分布踏査の実施を検討する。 | 環境政策室 | |

第2次環境基本計画改訂版 平成27年度重点プロジェクトの実績一覧(H28.3.31現在)

| 重点プロジェクト | 取組内容 | 平成26年度の実績(参考) | 平成27年度の実績 | 自己評価 | 担当室課の見解など | 担当室課 | 関係室課 |
|--------------------|---|---|---|------|---|--------------|---|
| (環境連携パートナー)のシナジー推進 | ① 活動や交流・連携の場を備えたプラットフォーム組織の形成・拡充の支援 ・さまざまな主体が集い、活動や交流を進める場の整備の推進 ・市民団体や企業などを中間支援するパートナーシップ組織の形成 | 市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたを推進した。 ・会員数94名・環境家計簿参加者162世帯・みどりのカーテン講座1回・「すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会」を通じて、市内スーパーでのマイバッグキャンペーン参加、すいた環境教育フェアに参加・ニュースレター及びエコプレス発行各4回・生物多様性に係る展示等3回の開催・「すいたエコウォーク」の開催1回 | 市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたを推進した。 ・会員数76名・環境家計簿参加者142世帯・みどりのカーテン講座1回・「すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会」を通じて、市内スーパーでのマイバッグキャンペーン参加、すいた環境教育フェスタに参加・ニュースレター及びエコプレスの発行各4回・生物多様性に係る展示自然観察会1回の開催・「すいたエコウォーク」の開催1回・千里リサイクルプラザと協働で子ども版環境家計簿「すいたんのエコライフチェック」を使用した授業を市内3校の小学校で実施。 | ○ | 平成25年度、26年度に引き続き、パートナーシップによる取組みの一つとして車社会からの脱却をめざし、「すいたエコウォーク」を実施し、昨年度より参加者、参加団体、協賛企業ともに増加した。今後、このような取組みの経験を活かし、プラットフォーム組織の形成につなげたい。 | 環境政策室 | |
| | | 吹田市市民公益活動センターにおいて、市民公益活動のフェスタ、分野別団体交流会、市民協働マッチング会、テーマカフェ、このゆびとまれ等、環境保全に取り組む団体を含むさまざまな主体がイベントを実施し、交流や連携の推進を図った。 | 吹田市市民公益活動センターにおいて、市民公益活動のフェスタとして、かえっこハザールを開催した。使わなくなったおもちゃなどの再利用と同時に、世代間交流を通じて地域の活性化を図った。市民公益活動団体、公共施設、教育機関、事業者、行政などと連携した。 | △ | 市民公益活動団体、市民、事業者、地域社会などとの交流・連携を促進することができた。 | 市民自治推進室 | 環境政策室 市民自治推進室 地域経済振興室 指導室 まなびの支援課 |
| | | すいた環境教育フェアと環境学習発表会を同時開催することにより、学校における取組の周知を図った。 | 千里リサイクルプラザと共催で、環境学習の展示発表会を1月29日から31日、環境学習発表会を1月30日に開催することにより、学校における取組の周知を図った。 | △ | 発表会を通して、他校の取組みの交流が図れた。参加数は横ばいで、今後さらなる周知をめざしていく。 | 環境政策室 指導室 | |
| | ② 積極的な情報提供、相互情報の共有・活用 | | | — | | | |

第2次環境基本計画改訂版 平成27年度重点プロジェクトの実績一覧(H28.3.31現在)

| 重点プロジェクト | 取組内容 | 平成26年度の実績 (参考) | 平成27年度の実績 | 自己評価 | 担当室課の見解など | 担当室課 | 関係室課 |
|------------------|---|--|--|------|---|-------|-----------------------|
| （エコスクール）の環境教育の推進 | ① 環境教育等促進法に基づく環境教育の充実 ・教材の開発や情報の提供 ・教職員の資質向上に向けた研修等の実施 など | ・環境教育担当者会を設定し、出前授業の紹介など環境に関する取組の交流等を実施した。 | ・環境教育担当者会を開催し、出前授業の紹介など環境に関する取組の交流・情報提供等を実施した。 | △ | 年2回実施。エコスクール活動や報告の交流にとどまった。 | 指導室 | 環境政策室 指導室 資産経営室 |
| | ② 太陽光発電、太陽熱利用など再生可能エネルギーの導入 | 【千里丘北小学校】 太陽光発電10.44kW | 実績なし | × | 施設の新築・改築の際には、積極的な導入に取り組んでいる。 | 資産経営室 | |
| | ③ みどりのカーテン、ピオトープ、ミニ水田などの実施 | ・みどりのカーテンを16校で実施。 ・ピオトープを17校で実施。 ・学童農園を18校、校内ミニ水田を12校で実施。 | ・みどりのカーテンを8校で実施。 ・ピオトープを18校で実施。 ・学童農園を19校、校内ミニ水田を10校、ハケツ稲を7校で実施。 | △ | 農地提供者との連携のもと、学童農園を実施。ミニ水田やハケツ稲活動を含め、全小学校で実施できた。 | 指導室 | |
| | ④ 校内物品のリサイクル、生ごみ等の減量化・堆肥化 | ・平成25年度に引き続き、エコスクール活動簿（環境の取組にかかるチェックシート）を活用し、全小・中学校53校において、児童・生徒、教員のエコに対する意識の高揚を図った。 | ・平成26年度に引き続き、エコスクール活動簿（環境の取組にかかるチェックシート）を活用し、全小・中学校54校において、児童・生徒、教員のエコに対する意識の高揚を図った。 | △ | 学期ごとに活動簿の提出を依頼し、意識啓発を図ることができた。 | 指導室 | |
| | ⑤ 環境学習副読本等の活用 | ・引き続き環境教育副読本を全小・中学校53校に配置している。 | ・引き続き環境教育副読本を全小・中学校54校に配置している。 | △ | 各校の環境学習で適宜活用を図った。 | 指導室 | |
| | ⑥ 環境教育の場の充実 | ・平成25年度に引き続き、NPO法人やリサイクルプラザと連携した体験的な活動や、学校での取組を発表する場を設定した。 | ・平成26年度に引き続き、NPO法人やリサイクルプラザと連携した体験的な活動や、学校での取組を発表する場を設定した。小学校8校でエコクラブ活動を実施した。 | △ | 今後も環境学習の発表の場を提供し、充実を図る。 | 指導室 | |

第2次環境基本計画改訂版 平成27年度重点プロジェクトの実績一覧(H28.3.31現在)

| 重点プロジェクト | 取組内容 | 平成26年度の実績(参考) | 平成27年度の実績 | 自己評価 | 担当室課の見解など | 担当室課 | 関係室課 | |
|------------------|--|---|---|--|---|---|---------|---|
| 地域における環境教育の推進(1) | ① 環境教育等促進法に基づく協働取組などの推進 ・市民団体や事業者、行政の協働取組の推進 ・環境保全活動を行う団体等への支援 など | | | — | | | | |
| | ② 効果的なイベント(講習会・発表会、展示など)の開催 | 市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたにおいて実施した。 ・みどりのカーテン講座1回・「すいたレジ袋削減・マイバック推進協議会」を通じて、市内スーパーでのマイバックキャンペーン参加・すいた環境教育フェアにおいて風呂敷講習会やマイボトルの啓発・生物多様性に係る観察会2回、展示1回の開催・「すいたエコワーク」の開催1回 環境問題について理解と認識を深め、環境保全に関する実践的な能力・態度を育てることを目的に「すいた環境教育フェア」を開催した。 | 市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたを推進した。 ・みどりのカーテン講座1回・「すいたレジ袋削減・マイバック推進協議会」を通じて、市内スーパーでのマイバックキャンペーン参加、すいた環境教育フェスタにおいて風呂敷講習会やマイボトルの啓発・生物多様性に係る自然観察会1回の開催・「すいたエコワーク」の開催1回 環境問題について理解と認識を深め、環境保全に関する実践的な能力・態度を育てることを目的に平成28年2月11日「すいた環境教育フェスタ」を開催した。参加者は592名。各団体の環境に対する取組展示やワークショップの実施等。 | △ | 平成25年度、26年度に引き続き、パートナーシップによる取組みの一つとして車社会からの脱却をめざし、「すいたエコワーク」を実施し、昨年度より参加者、参加団体、協賛企業ともに増加した。今後、このような取組みの経験を活かし、プラットフォーム組織の形成につなげたい。 市民・事業者が環境学習・環境教育に積極的に参加し、環境に配慮したライフスタイルや事業活動への転換を促進するため、今後も継続して実施していく。平成28年度は千里リサイクルプラザ主催の環境学習発表会と同時開催。 | 環境政策室 | | |
| | ③ 講演や講座などの学習機会の充実 | 廃油石鹸作り、環境家計簿、生ごみのたい肥化、緑のカーテン講座をはじめとした公民館講座の開催(主催は各地区公民館)(開催数計28回) | | 廃油石鹸作り、ごみの分別方法、緑のカーテン講座、古着のリフォーム講座をはじめとした地区公民館講座の開催(主催は各地区公民館)(計37回開催) | △ | 近年注力している現代的課題の一つとして、環境に係る講座を今後さらに推進していきよう、各地区公民館と連携していく必要がある。 | まなびの支援課 | |
| | | — (記載なし) | | 市報すいたやホームページなどで広報を行い、市内の団体から2件講師の派遣依頼があったため、ごみ減量・再資源化にかかる出前講座を実施した。 | △ | 広報をさらに進める必要がある。 | まなびの支援課 | 環境政策室 市民自治推進室 地域経済振興室 指導室 まなびの支援課 |
| | | 市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたにおいて実施した。 ・みどりのカーテン講座1回・「すいたレジ袋削減・マイバック推進協議会」を通じて、市内スーパーでのマイバックキャンペーン参加・すいた環境教育フェアにおいて風呂敷講習会やマイボトルの啓発・生物多様性に係る観察会2回、展示1回の開催・「すいたエコワーク」の開催1回 | 市民・事業者・行政の三者協働組織であるアジェンダ21すいたにおいて実施した。 ・みどりのカーテン講座1回・「すいたレジ袋削減・マイバック推進協議会」を通じて、市内スーパーやすいた環境教育フェスタにおいて風呂敷講習会を実施・エコキャンドル講座2回開催・生物多様性に係る自然観察会1回の開催・「すいたエコワーク」の開催1回・省エネセミナーの開催1回 | △ | 引き続き、市民の学習機会の充実を進めるとともに、事業者や団体等にも学習する場の提供を考える必要がある。 | 環境政策室 | | |
| | 地域でのごみ減量・再資源化を図るため、市民を対象とした出前講座、生ごみたい肥化講習会や廃棄物減量等推進員を対象とした、環境問題基礎講座、ブロック別研修会を実施した。 | 地域でのごみ減量・再資源化を図るため、市民を対象とした出前講座、エコッキング講習会や廃棄物減量等推進員を対象とした、環境施設見学会、ブロック別研修会を実施した。 | △ | ごみ減量・再資源化を図るため、今後も研修会等を実施し、市民が主体となり取組みを推進できるよう努める。 | 環境政策室 | | | |

第2次環境基本計画改訂版 平成27年度重点プロジェクトの実績一覧(H28.3.31現在)

| 重点プロジェクト | 取組内容 | 平成26年度の実績 (参考) | 平成27年度の実績 | 自己 評価 | 担当室課の 見解など | 担当室課 | 関係室課 |
|------------------|------------------------|--|---|----------|--|-------|------|
| 地域における環境教育の推進(2) | ④ 地域において環境保全活動を担う人材の育成 | すいたシニア環境大学では学校や地域で環境保全活動を実践する人材「環境の語り部」を育成 すいたシニア環境大学13期生修了者数(環境の語り部認定者数) 17名 | それぞれの家庭や地域において、環境活動を実践する人材を育成するため、新たに対象をシニア層に限定することなく、幅広い世代を対象とした「すいた環境サポーター養成講座」を開催した。28名が講座を受講し、20名が修了した。 | ○ | 平成27年度から、対象をシニア層に限定することなく幅広い世代を対象とした結果、受講者の平均年齢も下がり(平成26年度:67歳、平成27年度:56歳)、受講者数も増加した(平成26年度:17名、平成27年度:28名)。 | 環境政策室 | |
| | ⑤ 学習プログラムや教材の研究・開発 | — (記載なし) | 千里リサイクルプラザと協働で子ども版環境家計簿「すいたんのエコライフチェック」を作成し、市内3校の小学校でモデル実施をした。 | ○ | 引き続き、効果的な学習教材について、検討を進める。 | 環境政策室 | |